

大学入試合格体験記（私立大学）

慶応大学理工学部（三好北中出身）

数学の問題演習授業は司会進行、発表などすべての授業運営を生徒中心でやるように指示された。クラスメイトと話し合っって模範解答冊子を廃棄したことで、各自が考え方を議論しあう良い授業になったと思う。司会進行だろうが発表だろうが、東大京大の問題だろうが、一問一問に正面から向き合ったことで問題の本質をつかむことが出来た。

早稲田大学理工学部（東郷中出身）

理科が2科目で受験できる私立大と言うことで受験しました。英語、数学がかなりできたことによる合格かもしれませんが、受験を通じて理科の力が付いたと思います。

早稲田大学理工学部（三好北中出身）

早稲田大学だけでなく、慶応大学や東京大学など様々な大学の入試問題を使ってクラスメイトとスピード勝負をしました。ただ解くだけではなくスピードを競い合うことで数学力が鍛えられたのだと思います。

東京理科大学工学部（三好ヶ丘中出身）

英語、数学、物理の3教科B方式（記述式）で受験しました。理系教科を中心に記述力に自信のあった自分には向いていたと思います。

東京理科大学理工学部（三好北中出身）

ある教科でマークミスをしてしまい、ほとんど点を失ってしまった。しかし自信のあった理数系教科で満点を取ることで合格した。

東京理科大学理工学部（沓掛中出身）

志望校は違えどクラスメイトと数学の問題の教えあったことで、より理解を深めることが出来た。3年生になってから本格的に勉強を始めたが、この一年間の努力で人生が大きく変わると思うと気合いが入った。

東京理科大学理工学部（豊明中出身）

まず赤本で傾向やレベルを判断しました。あとは、早稲田、名大、京大、東大の過去問を授業で取り組んだことで、入試問題は余裕を持って解ききる事が出来ました。

東京理科大学理工学部（三好ヶ丘中出身）

高校2年の二学期から苦手な英語の学習を続けました。各教科の先生方の助けもあって、受験勉強は充実していたと思います。

東京理科大学理工学部（春木中出身）

記述試験の問題練習は量だけでなく質も重要だと思います。授業で出された問題を初見で黒板に解き、皆の前で解説することで力が付いたと思います。

明治大学理工学部（三好ヶ丘中出身）

得意な数学と物理で満点に近い点を取れたことが合格の大きな鍵となりました。自分自身を分析して、2つ3つ得意な教科を持つことが大切だと思います。

豊田工業大学工学部（みよし市立北中出身）

授業や補習の時間を有効に使うことが出来ました。まず勝てないだろうと思うぐらいのレベルのライバルをクラス内に持つことでモチベーションを保つことが出来ました。

豊田工業大学工学部（春木中出身）

模試でたくさん経験を積んでいたにもかかわらず、センター試験本番開始直後には手が震えて鉛筆も持てないほど緊張しました。でも今まで補習や自宅学習で頑張ってきた自分を信じてなんとか初日を順調に終わることができました。二日目も緊張しましたが、得意な理系教科であったことで勢いそのままにいい結果が出せました。

南山大学情報学部（春木中出身）

志望校が決まらない人はオープンキャンパスなどで一度大学に行って学科について聞いてみるといいと思います。志望が固まったら、この大学にいきたいと強く思うことでモチベーションを保てると思います。

南山大学情報学部（神の倉中出身）

受験生だからといって自然と自宅勉強時間が増えるわけではない。部活を引退してからは、授業後の補習でしっかりと力をつけた。多くのクラスメイトが頑張っている姿に刺激を受けながら最後まで自宅学習時間を確保することができた。

南山大学法学部（日進中出身）

春休みから単語や英文法全般についての基礎固めをしました。世界史に関しては1年生から先生の個別指導を受けたことで自然と受験に必要な力が身についたと思います。

南山大学経済学部（春木中出身）

理系ですが、得意な英語と数学のみのB方式で受験しました。自分の可能性は無限大です。経済学部であれば数学をいかすことができるので理系から進学することもいいと思います。